



ネパール応援セミナー by 協力隊ネパール会



# ヒマラヤの吟遊詩人 ガンダルバから見るネパールの変化

■南西アジアの「ネパール連邦民主共和国」。日本からも観光客が訪れるヒマラヤの麓・ポカラの近郊にバトゥレチョール村があります。ここはガンダルバという楽師カーストの故郷です。彼らは、ネパール伝統の弦楽器「サランギ」を弾きながら歌を聞かせて全国を回り、かつては「ガイネ」と呼ばれていました。  
 ■1982年に国立民族学博物館の取材班が、この村で映像を撮影しました。34年後に、再びバトゥレチョール村で撮影した映像から、この30有余年のネパールの変化が見えてきます。また、村を離れ、カトマンドゥで変化した演奏の形や現在の生業を描いた最新映像作品から、かつて差別の対象ともなった「サランギ」が楽器としての魅力を認識され、彼らのアイデンティティ・誇りにつながる様子が見えます。  
 ■ガンダルバ以外にも不可触カースト（ダリット）といわれた人々の状況にも触れつつネパールの変化について紹介し、今後を考えます。

協力隊ネパール会

会 期:令和元年・2019年11月16日(土曜) 午後3時より5時まで 午後2時30分 受付開始

会 場:「あいも文化交流会館」2階「沙羅ホール」(裏面MAP参照)

東大阪市御厨中1-18-38 コーナン東大阪店向い(1階は歯科医院)

内 容:協力隊ネパール会会長ご挨拶(ネパール会紹介、サランギ紹介)

講演:国立民族学博物館・南 真木人

関連映像一部紹介 『カトマンドゥのサーランギ奏者たち』77分(2019年)

『ネパール 楽師の村 バトゥレチョールの現在』92分(2017年)

フロア・ディスカッション(質疑応答と来場者による40数年前のポカラ紹介)

主 催:協力隊ネパール会

後 援:あいも文化交流会館、NGO びしゅわ、公益社団法人 青年海外協力協会(JOCA)

独立行政法人 国際協力機構(JICA)



講師プロフィール ■南 真木人 / みなみまきと ■国立民族学博物館 准教授  
 専門分野:生態人類学・南アジア研究

編著:『現代ネパールの政治と社会』南真木人・石井溥編、明石書店(2015年)など。

1986年3月より青年海外協力隊員(村落開発普及員)としてネパールで活動。

「協力隊ネパール会」会員としては、その専門性を生かした情報提供やアドバイスを  
 行い、震災支援活動報告会などに協力してきた。常にネパール人の方々の立場で考  
 える姿勢を維持し、「王国から共和国に変わった新生ネパールにおいて、社会の何がど  
 のように変わり、何がどのように変わらないのかを明らかにしていきたいと思  
 います。」

講演終了後、午後5時より7時まで「あいも文化交流会館」3階サロンで交流会を開催します。

交流会の中で、ネパール伝統楽器の演奏を行います。参加費:3000円(飲食費含む)

◆交流会参加希望者は11月8日(金)までに申込みください。参加費は当日いただきます。

◆セミナーは参加費無料・当日参加可能

事前申込不要ですが、資料準備の都合上、11月11日(月)までにご連絡ください。

◆申込み&問合せ 協力隊ネパール会 nepalkai@chautara-kaze.com

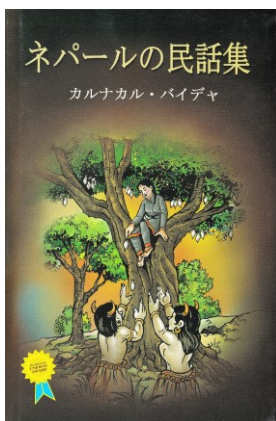
## 2020年・ネパール協力隊50周年に向けて

「協力隊ネパール会」は、青年海外協力隊(JOCV)やシニア海外ボランティア(SV)としてネパールで活動した経験者のネットワークです。現地の人々と同じ目線で活動してきたネパールの協力隊は2020年で50周年になります。その経験と蓄積を生かし、帰国後も様々な分野でネパールと係り続けるメンバーたちの多彩な活動情報を共有し、発信しています。

50年間で、「ネパール」が変わったこと、変わらないことの中で、私たちはどう関わることができたのか、できなかったのか、色々な視点で見つめていきます。そんな「情報」を発信し続けることで、日本の皆様に「ネパールへの興味・関心」を維持していただくことも、「協力隊ネパール会」の目的です。

### 「NGO びしゅわ」と「あいも文化交流会館」

帰国後の活動は多岐にわたり、NGO を設立したり、参加したりして活動するメンバーも多数います。

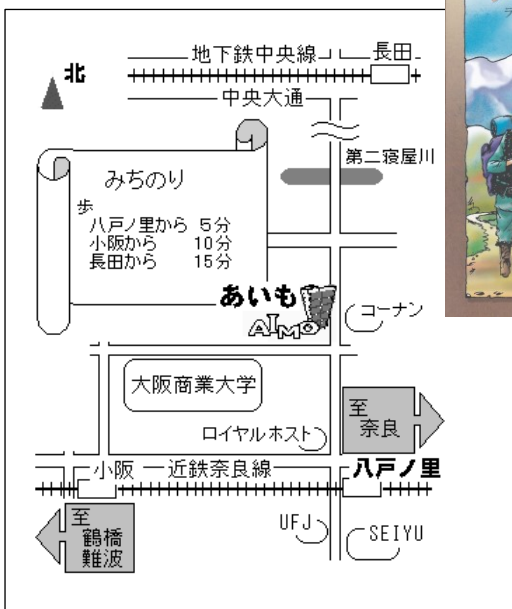


■「NGO びしゅわ」は2000年に設立されたNGOで、ネパールへの教育支援活動を行っています。2006年より、現地ネパールのNGO団体「ORCHID Nepal」と協力し、学校建設支援や奨学金など様々な活動を展開しています。  
代表: 明石六郎(奥田豊 1985年～JOCV 理数科教師) 事務局長: 小尾二郎(1984年～JOCV 理数科教師) 「NGO びしゅわ」が事務局を置く「あいも文化交流会館」は、ホール、スタジオ、カルチャースクールとして地元の文化交流・発信基地となっています。会館長: 明石六郎

■『ネパールの民話集』『NGO びしゅわ』・ネパールのラトナ書店と共同出版。第2弾『ネパールの民話 チベットの商人他』



講演後の「交流会」では、ネパール会の有志によるネパール音楽の演奏や、1970年代から2019年までのJOCVやSV経験者たちとのガフ(お喋り・会話)をお楽しみください。



<http://www.aimopro.com/> E-mail: [info@aimopro.com](mailto:info@aimopro.com)  
〒577-0035 東大阪市御厨中 1-18-38 電話: 06-6782-3566

「協力隊ネパール会」 <http://chautara-kaze.com/> E-mail: [nepalkai@chautara-kaze.com](mailto:nepalkai@chautara-kaze.com)

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 地球ひろば メールボックス22

青年海外協力隊やシニア海外ボランティアとしてネパールで活動した経験者が、主な会員。

その他、専門家、協力隊調整員などネパールでの事業に関わったメンバーも会員として所属しています。